

同志社大学経済学部 2015 年度秋学期特別講義「企業分析」

2015 年 10 月 30 日 「日本の長寿企業」

講師名 竹田 忍

#### 学生のベスト・コメント

■[回答 1]若者が活字離れ、IT 嗜好になっている社会状況の上で、日経新聞さまが新卒採用する際に、御社の魅力を新卒生、若者にメッセージするとしたらそれはどのようなことですか？

■[回答 18]今日おっしゃったような、あまり知られていない真実を知るため、また先見の明を持つためにどう情報収集すればいいですか？情報源の使い方、意識することがあれば教えてください。

■[回答 19]たいへん貴重な講義をありがとうございました。

サムスン、経営者のたぐいまれなリーダーシップで成長したとおっしゃっていましたが、ソニーやアップルと比べられるくらいまでに成長した他の大きな要因は何ですか。よろしくお願いいたします。

■[回答 24]老舗企業の凄さ、魅力についての講義は大変惹かれました。経済学部にはないような講義でとてもおもしろかったです。質問ですが、日経新聞社で働いている人々は色々な人に出会えるとありますが、その人達の話をもっと聞き出すインタビューの仕方を教えていただきたいです。また、上手い文章の書き方も知りたいです。最後に多くの老舗を訪れたことがあるとのことですがオススメの和食の老舗の店を関西で教えてほしいです。

■[回答 30]日経新聞は自分から読んだことがなく、あまり興味が湧かなかったので今回の講義はどうなるのか不安だったが、日本の長寿企業についてよく理解できたのでよかった。これからは積極的に日経新聞を読んでいこうと思った。

#### 講師からのコメント

■ [回答 1]電子媒体が速く、活字媒体が遅いというのが世間の常識ですが、大半のネットニュースは新聞各社のホームページからの転載です。つまり新聞の方が先行しているのです。皆さんが就職活動をする時に「パソコンが得意」と言っても当たり前すぎてセールスポイントになりません。ニューメディアでは独自性を演出できないのが現代です。確かに新聞を読む若者は激減しています。当該企業で働く者としては重大な危機感を抱かざるを得ません。ただ、大学生のほとんどが新聞を読んでいない中で、しっかりと新聞を読み込んでいる少数の人はそこから蓄えた情報によって自らを他者と差異化できます。こと就職活動においてはオールドメディアが極めて有効であると強く訴えたいと思います。

■ [回答 18]まっさきにやるべきなのはウィキペディアとの絶縁です。あんなあやふやな記述に頼るとろくなことはありません。ブログやホームページも信用できないものがたくさんあります。出典を明記しない電子情報は信用できません。最高学府で学ぶ皆さんなら当然、目を通すべきなのは先行論文です。「J-STAGE」でググると論文検索ページにたどり着きます。ウィキペディアのコピペはご法度ですが、先行論文の引用は正当な手順をふんでいけば問題ありませ

ん。レポートや卒論の作成に活用なさってはいかがですか。

- [回答 19]サムスンが急成長した背景の一つにウォン安があります。日本勢が円高に苦しむ中、為替で輸出競争力を得ていました。ですから最近のウォン高でサムスンも現代自動車も変調を来しています。「イノベーションのジレンマ」(クレイトン・クリステンセン著)という本があります。巨大企業が新興企業に追いつかれ、追い抜かれるメカニズムを説き明かした名著です。ソニーとサムスンの構図に置き換えて読めば、あてはまる部分が多々あると思います。一読をお勧めします。
- [回答 24]インタビューにはルールがあります。「人はみかけによる」ということです。自社の大切な情報を、チャラチャラした茶パツの腰パン記者に話す経営者はいません。社会人、大人として守るべき最低限の作法を守るのは当然のことです。「社会の木鐸」などと声高に主張しても、いやな奴に胸襟を開くひとはいません。相手の話をじっくりと聞いている姿勢を見せるのも大切です。ノートパソコンを開いて相手の発言を打ち込む記者が増えていますが、あれは最悪です。先方がウソをついている、動揺しているなどと表情を読むことができないからです。相手の目を見て話を聞くべきです。うまい文章の書き方はありません。私に言えるのは、文章力は読書量に正比例するということです。経験論では100冊読んだ人より500冊、1000冊読んだ人の方が語彙は豊富で表現力も高いといえます。お薦めの和食は「Meets」の方が適任です。
- [回答 30]あなたは素晴らしい。全ての同志社大学生があなたと同じ高い志を持っていてくれることを願わずにはいられません。

以 上